

第2678回 例会

2017. 3. 16

会長あいさつ



2016-2017年度 久保田 勲会長

クラブ創立記念日

週報 No.2046
発行 2017年 3月23日
会長 久保田 勲
幹事 樋口 雅之
副会長 藤村 作
副幹事 須田 悦正
編集責任者・
クラブ広報委員長 長沼 大策

ビジターゲスト
次年度地区公共イメージ部門
公共イメージ向上委員会委員
村松宏呂子様(大宮西RC)
全日本空輸株式会社
フライトオペレーションセンター
B737部 機長 中山陽介様

行事予定
3月30日(時間変更)
地区国際奉仕部門
委員長 小山寿行様
4月6日 献血運動に振替
4月13日 PETS報告
「次年度に向けて」
藤村作会長エレクト
4月20日(会場・時間変更)
地区研修・協議会準備
4月27日 4/21地区研修・協議会
に振替 於大宮ソニックシティ

みなさんこんにちは。本年度34回目の例会に参加頂きありがとうございます。本日は、大宮西RC・村松宏呂子様、全日本空輸株式会社・中山陽介様ようこそ。中山様にはパイロットについてお話しを頂けるとい事でどうぞよろしくお願致します。本日は上尾ロータリークラブ創立記念日になり、村松様からはお花を頂戴しました。ありがとうございます。

今週の報告は、12日の日曜日に米山記念奨学生修了式がございました。私は所用で参加できませんでしたが、関口カウンセラーと米山委員の島村バスト会長のもとチョウドリ・イムルル君が米山を修了されました。大学も卒業され就職も決まったという事で頑張っていたと思います。

さて今週は取引先の旅行で福島の会津芦ノ牧温泉に行き、来週は弊社の旅行で福島の土湯温泉に行ってきます。

東北の復興という事で、3.11あの震災から6年が経ち、今ではあまり報道されなくなりましたが、被災地の知られざる現状と当時の事を忘れずに語り続けられることが復興支援につながると思いますので少しお話しさせていただきます。そして、時の経過とともに、日常を取り戻すことができている人も多い反面、まだまだ困難な状況の中、復興への長い道のりを覚悟しながらも、必死にがんばっている人がたくさんいます。

実際、復興はどのくらい進んだのか調べてみますと??

道路や施設、交通などのインフラ復旧は早く進みました。これら

いよいよ、仮設に住む約10万人の方々の住まいの移行が始まり、まち

づくりが本格化していきます。

福島県内ではがれき量は304万トン、そのうち未処理分24万トンに減少。

全体(福島県だけでなく被災三県における総合値。以下特記無き限り)

同)では2015年1月31日時点で災害廃棄物が99.9%・津波堆積物は

99.3%との値が出ている。

岩手県(584万トン)と宮城県(1930万トン)は、2014年3月が

れきの処理を終えた。

福島県(422万トン)は2016年3月までに概ね処理完了(避難指示

区域を除く)

交通網では、計画された復興道路と復興支援道路(計画済み延長約570キロ)のうち、工事に着手、完工したのが全体の80%の約454キロで、うち供用が開始された道路も37%の約209キロある。

鉄道網では、岩手、宮城、福島各県の旅客鉄道で被災した路線は2330.1キロで、89%の2079.7キロで運行を再開している。

農業では、被災3県の水稲作付面積は昨年12月現在で、震災前の94%まで回復。岩手県及び宮城県では、震災前とほぼ同レベルまで回復し、福島県では震災前の85%まで回復した。

今なお、約18万人もいる避難生活者人数・・・震災直後に約47万人いた避難者数は、翌年2012年4月に約34万4000人となり、2016年1月時点では約18万人まで減少した。

被災地では、災害公営住宅の建設や、集団で移転する高台の造成が遅れています。

今、仮設住宅で生活している人は、岩手・宮城・福島の3つの県でおよそ9万人いますが、最も長い人は8年間も暮らす可能性が出てきました。

しかし、まだまだ復興が進んでいない被災地の現状・・・

私も当時の事を思い起こすと、私はプレハブの仮設事務所まで仕事をしていましたので、当時非常に揺れ倒壊すると思い、どうにかプレハブから逃げ出した記憶があります。妻は、実家に、長女は学校に、長男は当時修学旅行で金曜日の午前中の便でオーストラリアに向かっていましたので、この地震は体験していませんが、電話がつかなくなるまでは、当時津波の報道を現地では隠すことなく報道していましたので、本州が呑み込まれたと思ったそうです。私も、妻の実家が岩手県宮古市という事もありいろいろと思ひもあります。

6年経ってまだ、妻の幼馴染の同級生の友達も見つからないのが現状です。当時、子供たちは学校にいましたので、子供たちだけが助かった家庭も多いそうです。妻の実家に帰る度に、同級生の実家に長女と年齢が近いので洋服やお土産をもって立ち寄ってきますが、まだまだ心のケアは必要なのでしょうけれども、やっと子供達に笑顔が戻ってきて、ほっとしているところです。

そして今では、近年に南海トラフ地震や関東でも直下型の地震が来るといわれています。

東日本大震災の地震発生は、金曜日の15時前。これが、違う時間帯や違う曜日だったらおそらく、もっと被害が出た時間帯があるかと思ひます。もちろんともたたくさんの方々が被害にあっているのは承知しておりますが、家庭という防災面でいうと一番組織だった行動がとり難い組織ではなく、学校や会社など組織だって避難できる組織に個人の多くが属していた時間帯であったと思ひます。これが土日や夜であれば、家庭にいたことになりそうです。組織だった避難が難しかったかと思ひます。今回、日のあるうちに津波がやってきた。これが夜だったらどうなっていたか。遠くからやってくる津波に気がつくこともなく波にさらわれた可能性もあります。停電でどこに避難すればよいかすら手探り状態で迅速に避難できないかもしれません。また膨大な画像が記録され残されていますが当然夜であれば、その記録のほとんどは真つ暗闇のため記録されなかったはずなんです。

今は、被害の甚大さに目を奪われていますけれども、しかしながら、ある意味襲われた時間帯や曜日は、良かったという面もあるのではないかとと思ひます。何しろ、平日の営業時間帯より、それ以外の時間の方が長いのですから。確率的には、後者の時間帯に被災に襲われる可能性の方が高いと思ひます。

今後の防災を考えるうえで、重要なことだと思ひます。被害・復興が現在進行形であることを考えると、このようなことを言い出す次期ではないのかもしれないが、逆に次の瞬間災害が襲ってくるかもしれないというけれども、決して忘れるまで待ってくれるわけではないと思ひます。是非家族会議を開いて防災対策を話し合われてはいかでしょうか。以上で会長挨拶と致します。本日もよろしくお願致します。

幹事報告

樋口 雅之 幹事

◆3月19日13:00から、北本RCさんが北本市文化センターで毎年開催している「青春メッセージ」が開催され、北本高校の方に「私の目標」というテーマでスピーチをしていただくそうです。入場無料。多数の皆様、



お越しください、とのこと。◆当地区の2019~2020年度のカバーに越谷北RCの小林操さんに承認されたと報告がありました。

◆地区社会奉仕部門さんから、ペットボトルキャップ回収について、不純物の混入が多く、分別するのに苦慮しているため、キャップのみの回収をお願いしたいと連絡がありました。なお袋は1回に1回にしてください。

◆次年度の米山記念奨学生世話クラブに当クラブが当選して、1人の留学生を受け入れるのですが、そのカウンセラーオリエンテーションが4月8日にさいたま市民会館うらわで開催されます。カウンセラーには藤村会長エレクトから私(樋口副会長エレクト)が指名されましたので、私が行ってきます。

次年度 会長・幹事会報告

須田 悦正副幹事(幹事エレクト)

◆次年度には周年事業が上尾、鴻巣、上尾西の3クラブがあり、また上尾北RCは今年度内、6月に30周年記念があります。

◆次年度にむけ最大規模な議事は、規定審議会の決定を受け、当クラブとしても次年度にむけた細則を考えていかなければなりません。どのように細則を決めていくか、皆様にお知恵をお借りしながら進めさせていただければと思ひます。

ビジターゲストあいさつ

次年度 公共イメージ向上委員会 委員 村松宏呂子様

みなさまこんにちは。大宮西RCから参りました村松宏呂子と申します。本日は上尾RC様の創立記念日ということで、おめでとうございます。特別な日にもかかわらずメイクアップを快くお受けいただいた皆様に感謝を申し上げます。今日はたくさんのことを学んでクラブに持ち帰りたいと思ひますのでよろしくお願いたします。

実は私の会社と住まいは上尾市内の本町で、皆様



には日頃お世話になっていると思ひます。2年前、肩を骨折した際、藤村病院さんにたいへんお世話になりました。今後ともどうぞよろしくお願いたします。

例会主題~卓話

全日本空輸株式会社 B737部 機長 中山陽介様

ご紹介に預かりました、全日本空輸株式会社・フライトオペレーションセンター・ボーイング部737機長・路線教官の中山陽介と申します。本日は大先輩方

前に、講演をするにあたり非常に緊張しており、お聞き苦しい点もあるかと思ひますが、宜しくお願い致します。

普段は機長として国内線・国際線問わず飛行するとともに、副操縦士昇格訓練や機長昇格訓練を受け持っております。普段、このような場では「機長としてのマネジメント」をお話しさせて頂くことが多いのですが、本日は社長のお集まりであり、「マネジメント論」を語るには恐ろしいと思い、多少ラフに「パイロット」に関することをお話しできればと考えております。

メディア等で報じられご存じかと思ひますが、特に日本のパイロット不足は深刻な課題となっております。パイロットはそう身近にはないと思ひます。日本にはたった約6,000人、そのうちANAで2,000人です。アメリカでは27万人、フランス・イギリスでもそれぞれ2万人いるのに対し、圧倒的に人数が少ない状況です。

昨今、規制緩和(就職活動時の視力が裸眼→矯正視力1.0。定年がANA65歳/格安航空会社68歳など)はされていますが、とにかく日本のパイロットに求められるレベルが非常に高く、日本が高すぎるのが原因です。それを示すかのように、外国人パイロットが日本の航空会社で働くために、日本の国土交通省の審査に合格するとすぐに、転職してしまいます。日本の免許は世界一難しいとされているからです。

さて、ご息様や周りの方でパイロットになっていた方がいらっしゃればと思ひ、パイロットになるための道筋をご紹介させて頂きます。パイロットの宣伝になってしまうかもしれませんが、当の私も二次鉄鋼問屋を営む父を持つ長男であり、手を飛び出してパイロットになってしまいました!大手の商社に内定をもらったときは、「数年で人脈を作って帰ってこい!」と言われておりましたが、パイロットに決まった瞬間、手のひらを返し



喜んでおりました。パイロットになる道筋は4つあります。①自社養成 / ②航空大学 / ③大学の航空科(東海大学・桜美林大学など) / ④自衛隊から

おおよそ26~28歳で副操縦士としてデビューすることになるわけですが、そこから1年を通して季節毎の運航を経験し、徐々に国際線の資格や悪天候での着陸を行うための資格を贈り、落ち着けば30歳と若く、社会では運送の新人となります。ともすれば同級生は30歳ともなれば係長くらいにはなっている。結婚して子供もいることも・・・なんとも社会から取り残された感があるのですが、晴れて、第二の青春が若いCAさんとともにやってきます。

それから、10年ほど機長を目指し経験を積み、約40歳で機長昇格訓練となります。「副操縦士は機長に経験で負けても知識で負けるな!」という言葉もあります。最新の知識を有する副操縦士と、経験を積んだ副操縦士になるには、知識を有し、マニュアルに定められた通りに飛行機を操縦すればよいのですが、機長昇格訓練はまた別格です。機長昇格訓練を一言でいうと「リスクマネジメント」です。担当する運航、全ての全責任を負わなければならない。弊社では、運航中においては弊社社長よりも権限を与えられています。どれだけ潜在化するリスクを的確に把握し、そのリスクを制御できるかがポイントになります。

ぜひ飛行機から降りるときに、聞いてみてください。教官が訓練生を怒鳴っている声がコックピットからたまに漏れていますよ!

勤務体系は、日帰りや2泊3日の国内線、日帰りや数泊する国際線となります。一日に3~4便運航しております。月に11泊しており、妻とはちょうどよい距離感といったところですが、かつは国内線・国際線パイロットと分かれたのですが、宇宙線(放射線)の被爆管理が為されたことが主な理由で分けられないこととなりました。

国内線の醍醐味は四季による自然の変化が豊かなこと。世界有数の気流不安定さと滑走路の短さでアドレナリンが出まくるところです。

一方国際線は、お客様へのお食事サービスのため、2~3時間連続したシートベルトサインの消灯が必要となり先を見越すことが重要です。

本日はご静聴いただきありがとうございました。



中山様、卓話いただきありがとうございました

樋口幹事 ANA中山様、貴重な卓話、ありがとうございます! 大宮西・村松様、素敵なお花ありがとうございます! 長沼会員 先週はPETS設置してきました。大塚PG、藤村会長エレクト、大木国際奉仕部門委員長、大塚ブライダル委員長、お疲れ様でした。

久保田会長/藤村副会長/須田副幹事/武重会員/岡野会員/大塚信郎会員/井上会員/萩原会員/尾花会員/大塚崇行会員/齋藤博重会員/関口会員/野瀬会員/宇多村会員/斎藤修弘会員/春日会員

Table with 3 columns: 出席率, 出席 会員数, 出席数, 欠席 欠席数, 欠席数 (%), 修正(%)

